



平成 20 年 11 月 17 日

各 位

会 社 名 三井海洋開発株式会社
代表者名 代表取締役社長 山田 健司
(コード番号：6269)
問合せ先 経営企画室長 高野 育浩
電話番号 03-6203-0200 (代表)

業績予想の修正に関するお知らせ

プロジェクトの遂行に関わる追加費用が発生する見込みとなったことから、平成 20 年 2 月 21 日に公表した通期連結業績予想及び通期単体業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 20 年 12 月期 業績予想数値の修正 (平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 12 月 31 日)

(1) 連結業績予想：

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	140,000	5,200	6,500	4,600	122 ^円 97 ^銭
今回発表予想 (B)	140,000	1,400	2,600	1,300	34 ^円 75 ^銭
増減額 (B-A)	—	△3,800	△3,900	△3,300	—
増減率 (%)	—	△73.1	△60.0	△71.7	—
(ご参考) 前年実績 (平成 19 年 12 月期)	144,040	6,959	7,828	4,499	120 ^円 28 ^銭

(2) 個別業績予想：

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	53,000	4,300	3,800	2,200	58 ^円 81 ^銭
今回発表予想 (B)	33,000	△900	900	700	18 ^円 71 ^銭
増減額 (B-A)	△20,000	△5,200	△2,900	△1,500	—
増減率 (%)	△37.7	△120.9	△76.3	△68.2	—
(ご参考) 前年実績 (平成 19 年 12 月期)	56,378	5,035	4,834	1,893	50 ^円 62 ^銭

2. 修正の理由

今般、当社が建造・据付工事を行い、石油会社向けにチャーターサービスを提供している FPSO 及び FSO に関し、後述のとおり多額の追加費用が見込まれる事態が発生いたしました。当社では、追加費用の負担について客先である石油会社、ならびに造船所を含む下請け業者との協議を行っておりますが、当年度中にこれらの協議が決着しない場合、当社はこれらを当会計年度の費用として計上する可能性があります。

また、海外関係会社を連結する際に用いる為替レートが、当初想定した 105 円/米ドルよりも円高で推移していること等も踏まえ、上記のとおり業績予想を修正することといたしました。

(1) 追加費用の発生について

FSO RANG DONG MV17 の海洋油田への据え付けに際して、海底の地盤の状態が事前の調査と異なっていたことから、係留作業に追加工事が発生いたしました。当社では、この費用を約 20 億円と見込んでおります。

また、FPSO SONG DOC PRIDE MV19 は、現地労働者の不足等によって、改造工事を行っていた造船所からの出航が遅れる結果となっております。その後の工程においてキャッチアップに努めているものの、この影響によって工期が延びていることから、約 10 億円の追加費用が発生する見込みとなっております。

(2) オペレーション事業の採算について

当社グループは、世界各地で FPSO 及び FSO のオペレーション及びメンテナンスに関わる事業を遂行しております。これらのオペレーション手数料については毎年見直しを行っているものの、当年度は人件費及びエネルギー価格の急激な上昇によって収益が圧迫される結果となっております。

当社グループは客先である石油会社各社にオペレーション手数料の見直しを要請しているところですが、当年度は当初計画比約 5 億円の営業減益が避けられない見込みです。

(3) FPSO MODEC Venture 1 の再チャーター契約について

当社の子会社である ELANG EPS PTE LTD. (EEPL 社) が保有している FPSO MODEC Venture 1 は、当初のチャーター契約が終了した後、平成 19 年 8 月に新たな石油会社から再チャーター契約の内定を得ましたが、客先の事情により、これまで正式契約の締結に至っておりません。

今後、契約に関する協議が更に長期化した場合には、前操業地からの FPSO 撤収作業を EEPL 社の負担で実施せざるを得なくなり、当社グループの収益に影響を与える可能性があります。

当社では、協議の現状に鑑みて、近日中に契約が締結されるものと判断していることから、本件については今回の業績修正に織り込んでおりません。

(4) 個別業績予想について

個別業績予想については、上記(1)の理由のほか、当社での受注を見込んでいたプロジェクトの減少を反映して、単体での業績予想を修正しております。

以 上